

令和3年3月議会定例会 提出案件(賛否)

○：賛成 ●：反対

議案番号	件名	令和会		自民誠心会		みらいの風		無所属の会 市民の力		日本共産党 湖南市議員団		湖南市党 明議員団		無党派		
		上野 顕介	森 淳	藤川 みゆき	大島 正秀	菅沼 利紀	加藤 貞一郎	小林 義典	奥村 幹郎	望月 卓	堀田 繁樹	松原 栄樹	赤祖父 裕美	立入 善治	松井 圭子	桑原田 美知子
議案第5号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第11号	湖南市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第21号	令和3年度湖南市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第22号	令和3年度湖南市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第24号	令和3年度湖南市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第25号	令和3年度湖南市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
意見書第1号	75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対する意見書	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●
意見書第2号	新型コロナウイルス感染抑止のための社会的検査を求める意見書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●
意見書第3号	気候非常事態宣言と着実な目標達成をめざす政策をすすめる意見書	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

意見書第1号
75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対する意見書

2019年12月19日に発表された政府の全世代型社会保障検討会議中間報告で、現在「原則1割」の75歳以上高齢者の医療費窓口負担について「負担能力に応じたものへと改革していく」と強調された。そして、後期高齢者について、「一定所得以上」の人を対象とした「2割負担」を導入することが盛り込まれた。今後、「団塊の世代」が75歳以上になり始める2022年までに実施できるよう法制上の措置を講じるとしている。

同中間報告は、社会保障のためだと消費税を10%にまで引き上げながら、新たな負担を高齢者に押し付ける内容である。これでは高齢者の生活はますます苦しくなってしまう。高齢者の所得の8割は公的年金が占め、約7割の世帯は公的年金のみで生活している。その年金も減らされ続けて1996年の210万円から

2016年には180万円まで15パーセントも減っている。さらに、高齢者の貧困化の深まりで、生活保護を受給している高齢者世帯は安倍政権下では1.2倍以上に増えている。これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることになる。

「負担能力に応じたものへと改革していく」と言うのなら、税や社会保険料での徹底こそが求められる。高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきである。また、国の社会保険財源の確保を消費税と「働き方」改革ではなく、早期発見、早期治療や薬価の見直し、大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきである。こうした状況を踏まえて、下記の措置を講じられるよう強く要請する。

意見書内容
1. 75歳以上の医療費窓口負担を2割にしないこと。

賛成少数で否決